

## JAL、エアバス社 A350 型機の導入を決定

(共同リリース)

2013 年 10 月 7 日  
日本航空株式会社  
エアバス株式会社



日本航空株式会社(以下「JAL」)は、本日の取締役会において、中長距離路線用の更新機材として、エアバス株式会社(以下「エアバス」)の A350 型機の導入を決定し、A350-900 型機 18 機および A350-1000 型機 13 機からなる確定 31 機、およびオプション 25 機の購入契約を締結しました。

JAL がエアバス機を発注するのは初めてのことであり(注)、エアバスが日本の航空会社から A350 型機を受注するのも初めてとなります。(注) 統合前の株式会社日本エアシステムによる発注を除く

今後、両社は2019年のA350型機運航開始を目途に準備し、6年程度で更新を進めてまいります。

### 【A350 型機の概要】

A350 型機に関しては、2014 年の商業運航に向けて 2013 年 6 月より試験飛行が行われている-900 型のほか、派生型として長胴型の-1000 型、および短胴型の-800 型の開発が進められており、新開発のロールスロイス社製エンジンがいずれにも装着されます。

この新開発のエンジンに加え、胴体・主翼など広範囲に複合材を用いることにより、同サイズの既存機に比べて大幅な燃費改善が見込まれるなど、優れた経済性を有しています。また、A350 型機は機内の気圧を地上に近づけることなどで、お客さまに快適な空の旅をご提供することが可能となります。また燃費改善に伴い、二酸化炭素や窒素酸化物の排出も抑え、環境にも優しい航空機です。

**【日本航空 代表取締役社長 植木義晴のコメント】**

「JAL は、高い運航性能、商品競争力を持った A350 型機を最大限に活用し、首都圏発着枠拡大をはじめとするビジネスチャンスに積極的に対応していきます。今後も、機材更新による変動費の低減など、収益性の向上を図りつつ、新しい客室仕様や着実なネットワーク展開により、常にお客さまに最高のサービスを提供してまいります。」

**【エアバス社長兼最高経営責任者(CEO) ファブリス・ブレジエのコメント】**

「優れたサービスと快適な空の旅を提供される航空会社であるJALは世界的にも有名です。そのJALがこのたびA350型機を日本で初めて発注されたことを大変光栄に思います。日本を代表する航空会社であるJALとエアバスが新たな関係を構築し、お互いにとって輝かしい未来が開かれることを確信しています。」

以上